

新飯能

発行
日本共産党
飯能市委員会
973-1091

金子とし江
090-7265-1601
山田とし子
090-4389-4439
新井たくみ
090-4010-5650
滝沢おさむ
090-7000-4481

<議員団の連絡先>
973-2111(市役所456)
Mail jcp-sigi@
pluto.plala.or.jp

デフレ不況の克服は 所得を増やし、内需を活発に

志位委員長が大宮で訴え

日本共産党の志位和夫委員長は11月24日、



大宮駅西口での街頭演説のなかで、深刻化しているデフレ不況からどう抜け出すかについて、「働く人の所得を増やし、内需を活発にすることがカギ」とのべ、二つの提案をおこないました。

内需壊す逆立ち政策

政党の真価が問われる選挙です 全力でがんばります

埼玉9区予定候補 工藤たけし

12月4日の衆院選の公示日が目前に迫りました。

選挙直前に新党ができた

日本共産党は今年90

周年を迎えました。戦争反対、国民主権を掲げて命がけで闘い、大企業やアメリカにもハッキリものが言える党、企業献金・政党助成金を受け取らない清潔な党が日本共産党です。

それを応援するどころか、逆に破壊する逆立ちの政策をとってきたことに、デフレ不況の根本原因がある」と強調しました。

働く人の所得を増やす政策に転換を

第二は、大企業がため込んでいる260兆円の内部留保を、雇用や中小企業に還元する政策を実行することで



要望書を提出する野澤事務局長

を正社員にする、最低賃金の抜本的引き上げをおこなう、解雇規制法を制定する、中小企業と大企業の公正・公平な取引ルールの確立などを提案し、大きな拍手がおこりました。

地労連が 定数削減反対の要望書を提出

飯能日高地域労働組合連合会は26日、砂長恒夫市議会議員に、自治会連合会から「飯能市議の定数削減に関する要望書」が提出され、一部議員から定数削減案が提案されると報道されていることから、「議員は市民の身近な声や要望を議会に届け、住民のよりよい生活を実現するために不可欠な存在である。議員定数を削減することは、市民は、議会が議会改革に取り組んでいることを評価している。定数削減より、質的な改革に期待している」と述べました。

波紋

自民党や、日本維新の会は戦争オタクになつてしまつたのでしようか。自民党の安倍総裁や日本維新の石原代表を蔑むわけではありませんが、この人たちの頭の構造はよほどどうかしているのだと思います。まさか本気で考えているわけではないだろうと思つていたらとんでもないことになりました。「国防軍」を創設するといふ安倍総裁、核武装の準備をするといふ石原代表。冗談でいつているわけではありません。国防軍創設は自民党の政策であり、日本の核武装は日本維新の会代表としての発言です。ともに目指しているのは改憲です。この人たちには「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起きることのないように決意」した憲法の恒久平和主義などどこ吹く風なのでしよう。9条を守る多数派を形成するためにも今度の選挙負けるわけにはいきません。

遠距離通学者にバス代補助増額を

原市場、名栗支部が要望署名提出

日本共産党原市場支部は19日、沢辺市長に對して、遠距離通学者への補助金の増額と高齢者のバス代助成を求め、要望書を950名分の署名を添えて提出しました。



新井市議とともに要望書提出

名栗、原市場、南高

麗方面からバスで通学する高校生などはバス代が高いことから、家族が送迎したり、歩道のない危険な県道を自転車で通学しています。3年前から高校生に對するバス代補助がされるようになりましたが、一年定期代の2割(1割以下で、申請しない人も多い。せめて3割程度の補助を求め、声が多いことから、名栗、原市場地域を中心に、署名運動に取り

組んできました。

要望書の提出にあたって吉本支部長は、「家族で送迎している人も多いが、3割程度の補助がでるようになればバスに切り替える学生も多いと思う。ぜひとも検討してほしい」と求めました。

對応した本橋副市長は、「発足した地域交通協議会でそうしたことも含めて検討していくことになる」と答え、前向きな姿勢を示しました。

子ども医療費を中学校卒業まで完全無料に

新婦人が請願を提出



滝沢市議とともに請願提出

飯能市の子ども医療

助成制度は、小学生は1カ月3千円を超えた部分についての助成制度となっていますが、埼玉県内63市町村の状況は通院だけでは、60市町村で中学校卒業まで無料化年齢を引き上げています。

請願書では、「子ども医療費の無料化は、子育て中の世代にとつて切実な願いであり、安心して住み続けたい街づくりにかかせない」として、「子ども医療費の完全無料化(現在の1カ月三千円の枠をなくすこと)」を求めています。

請願は10日の午後、厚生文教委員会で審議されます。

日本共産党の一般質問

日程と項目

12月5日(水)

14:20

滝沢おさむ

- 1、岩沢地区の整備
- 25年度は岩沢地区整備20年の最初の区切り進捗状況、見直しはどうか

藤田掘について

- 2、双柳南部区画整理の見直しは
- 3、笠縫地内の踏切り整備と交通問題、八高線六道踏切りと今後の踏切り整備
- 4、岩沢地区の下水道幹線、枝管の整備、暫



- 定整備も含め早期の整備は住民の願い、現状と今後について
- 5、久下六道線整備見えてこない16m幅員の必要性
 - 整備については地権者、住民に十分な説明と合意が必要
 - 6、米軍横田空域の訓練とMV22オスプレイについて飯能市の考えと対応は

12月5日(水)

15:30

金子としえ

- 1、発達障害の子どもたちへのトータル支援について
- 2、就学援助の拡大について
- 3、生活困窮者への介護保険料減免について
- 4、TPP参加による市民生活への影響と市長の見解について

12月6日(木)

13:10

新井たくみ

- 1、市民生活が厳しい中で、市政の重点を市民生活を守る方向へ転換を「不用不急な道路建設などをやめ、税、

- 医療、介護、公共料金などの軽減策で市民生活応援を
- 2、山村振興
 - 空き家バンク制度の検討状況はどうなっているか
 - 木質バイオマス事業の推進について
 - 3、福祉政策
 - 高齢者の外出支援を
 - 手話通訳制度創設を

12月7日(金)

14:20

山田とし子

- 1、国民健康保険の税率改正について
- 2、国保税引き下げを
- 3、3才未満児の受け入れ枠の拡大について
- 山手保育所の開所により待機児の解消が図れるか
- まちなかに未満児の保育施設を

12月8日 交通問題講演会

鈴木文彦氏が講演

議員16名で共同開催

日時 12月8日(土)

午後2〜4時

富士見公民館集会所
お話し 鈴木文彦氏



鈴木さんは、交通ジャーナリストとして長年、月刊誌「鉄道ジャーナル」で、地方鉄道やバス関係の記事を数多く執筆されています。また、八王子市・奈良市・山口市・宇都宮市・東京都檜原村など、全国各地の地域交通協議会委員として活躍中。全国の事例を調査・研修し、講演やアドバイザーなどで、地域の活性化に尽力されています。

呼びかけ(議席順)
石井健祐 内田健次
小林和子 町田昇
滝沢修 山田利子
新井巧 金子敏江
石田冨子 松橋律子
佐野春雄 鳥居誠明
内沼博史 大久保勝
梶田博之 武藤文夫